



# 希望の未来へ！あなたと市政のかけ橋に すずらんジャーナル

船橋市議会議員

はしもと 和子

2025年 第78号

市民相談はお気軽に

090-5574-9079

発行 橋本 和子

## 骨粗しょう症検診が始まります。

40歳～70歳までの5歳刻みの女性

検査名・自己負担額
DEXA法(腰椎) 1,000円
MD法・SEXA法 500円



検査方法で、DEXA法を取り入れていただき感謝申し上げます。今回、骨粗しょう症検診を開始するにあたり、医師会との協議があったことと思いますが、どのようなご意見があったのか、通知の方法や、スケジュールをお聞かせください。

船橋市医師会に新たに骨粗しょう症委員会を発足し協議を重ねた。検査方法について、簡便な方法で、精度の低い超音波検査ではなく、エックス線による検査、特に大腿骨付近部の検査に有効なDEXA法による検査を導入すべきとの意見があった。

### 主な検査方法

**DXA法**

腰や足のつけ根、または腕の骨に2種類のX線を当てて骨密度を測定

**MD法**

手のひらをX線撮影し、人さし指の骨とアルミニウムの濃度を比較して骨密度を測定

**QUS法(超音波法)**

超音波を用いてかかとの骨量を推定し、将来の骨折リスクを予測。X線被ばくの心配はない

※骨粗鬆症財団の資料を基に作成

誕生日毎に4つに分け、6月・8月・10月・12月の年4回に分割して受診券を発送する。

## 家事・育児支援サービスが始まります。(7月開始予定)

妊産婦に対して家事や育児の支援をすることで育児負担の軽減につなげ、ちょっとした相談相手にもなれる、訪問型の育児・家事支援サービス。



今まで何度か取り上げてきましたが、産後ドゥーラは対象外なのか？また、受託事業者を1か所にした理由は？



プロポーザル方式により事業者を特定し、随意契約を締結して委託する。産後ドゥーラが、本市の入札参加資格を有し、プロポーザルの参加条件を満たしていれば、参加は可能。

1事業所にすることで、市内一律の利用料でサービスを提供できる。

# ポータブル太陽光パネル蓄電池

防災講話や防災訓練の機会があり、大きな地震がいつ起きてもおかしくない状況であること、各自が備えをしておかなければならないと、強く感じています。

自助・共助・公助に加えて近助が重要とのこと。お互いが声を掛けられる関係を築くとともに、自分ができる事を考えておく必要があります。



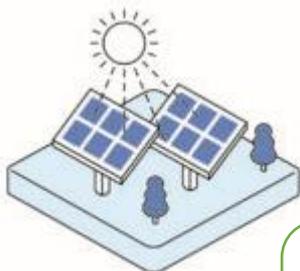
災害時には、正しい情報を得ることが重要、市では、防災無線が聞き取りづらい地域もあるので、情報メール・HP・SNS等で発信していく。これらの情報を得るには、スマホ・タブレット・パソコンといった端末が必要で、必ず電源が必要です。

また、台風の時期など停電になった時、ランタンなどがあれば、灯りの確保ができます。これらの事を考えると、私は、防災の観点からも、ポータブル太陽光パネル蓄電池は必要だと考えます。

危機管理課とのやりとりでは、自主防災組織に対し、必要な物資の購入補助をしている。その中での購入は可能なので、個人での購入に対する補助は考えていないとのことでした。では、自主防災組織は、町会自治会単位での結成なので、町会自治会の加入率が減少している中、未加入の地域ではどうすればよいのか、考える必要があります。

また、台風の時期などいつ停電するかわかりませんので、いざと言う時のためにも、個人で用意しておくことが重要なのではないのでしょうか？

このポータブル蓄電池は、太陽光パネルでの充電はもちろんですが、台風の時など太陽光が無理でも、家庭の電源からも充電ができます。台風は、天気予報などで前もって準備ができます。



太陽光発電

補助金制度のある自治体を調べてみました。補助金制度のある所は、わずかでしたが、その中でも環境関係の部署が多かったので、本市としても、ポータブル太陽光パネル蓄電池の購入補助ができないか環境部に伺います。



環境部では、温室効果ガスの排出量の削減及び省エネルギー対策として、住宅に設置した太陽光パネルや蓄電設備等の導入費用の一部助成をしている。ポータブル式太陽光パネル蓄電池については、蓄電容量が小さいことから、家庭から排出される温室効果ガスの削減効果が小さいと思われる。

しかしながら、再生可能エネルギーの活用による環境意識の高揚には一定の効果があると考えられるので、国・県や他市の動向を注視する。



特に災害時には必要となりますので、危機管理課も含め、関係部署と協議し検討していただくよう要望させていただきます。

# 全ての子ども達が安心して暮らし学べる環境

不登校の児童生徒が増加する中、教育委員会では、居場所づくりで校内教育支援センターを設置し、スクールアシスタントを配置。また、いじめや不登校などの相談に応じるスクールカウンセラーを配置し対応をしていますが、今回こども家庭部より、不登校のこども、保護者の相談支援や居場所の設置等を検討するための予算が計上されました。教育委員会では、様々な対応をしているにもかかわらず、なぜ、こども家庭部が関わるのか伺います。

文部科学省の「誰一人取り残さない学びの保障に向けた不登校対策」(COCOLOプラン)において、自治体の教育部局と福祉部局等の連携・協働を強化する。とある。また、令和6年度の総合教育会議において、不登校児童の状況や支援について取り上げ、教育委員会から、健康福祉局に対し、学校にも相談したくないという保護者のための相談体制の協力依頼があった。



不登校の中には、いじめで不登校になっている子どもも少なからずいると思います。また、生きづらさを抱えている子どもも多いと感じます。そのような子どもを抱えている親に対し、以前から何度となく取り上げてきました、言葉がけなどを学ぶ「ペアレント・トレーニング」。より良い親子関係を築くためにどうしたらよいか学ぶ場が必要です。どのように取り組んでいるのか伺います。



家庭児童相談室では、「子育てのヒントを学ぼう」というペアレント・トレーニングの講座を開催している。上手なほめ方、叱り方やイライラの減らし方、トラブルへの対処方法などをロールプレイ形式で学んでもらっている。

参加者のアンケートでは「意識して子どもの良い行動を見つけよう、ほめたいと思うようになった」「子どもの笑顔が増えたかも!」「ほめられてうれしそうだった」などの声がある。

令和7年度は1コース4日間の講座を年3回開催予定。

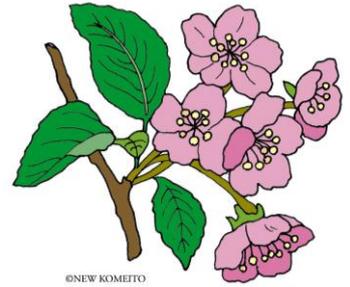
千葉市で開催された「メンタルヘルスと人権 展示会&セミナー」で、【こどもの一番の理解者は「親」。教育者は、本来その子が、どこでつまづいているのか知り、つまづいているところをしっかりと教えることが大切。どの子も、発達するという考えに基づき、発達を促すという「発達支援」もある。親が変わると子どもも変わる。「発達を支援する」ことが重要】という事を学びました。親子の関係や発達に応じた子どもの関わり方を学ぶのはとても重要です。

# 御滝中学校校舎等建替事業（令和12年4月供用開始）

築57年が経過するD棟および体育館を保有する御滝中学校は8棟に分かれているため機能性が悪く、学校運営にも支障があるため、全ての建物を校庭の南側に建て替えられます。



御滝中学校は、我が子が3年間通い、私もPTAの役員として3年間通いましたので、とても愛着のある学校です。この頃から校庭の水はけが悪く、晴れても、校庭が使えず、何故だろうと思っていました。議員になりたての頃、下水道部長に確認したところ、「校庭に雨水が溜まるようにしているため」とのことでした。であるならば、地下に貯めることができないのか、聞いたところ、「下水道部では、地下貯留施設の設置ができないか、考えていたところです。」このことから、私は、学校や施設が新設されるたびに、地下貯留施設が設置できないのか、更に雨水利用ができないのか、取り上げてきました。



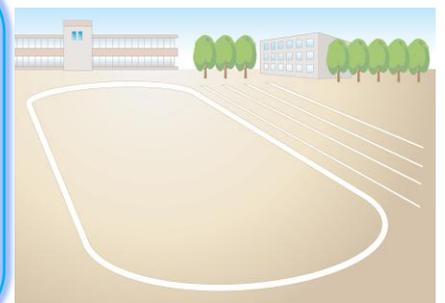
こうした中、全面改築の西海神小学校では、2階バルコニー部分の植栽への散水用として、タンクを設置し利用。船橋小学校では、雨水を利用した校庭の散水、塚田南小学校では、さらに、トイレの流す水も利用できるようにしてもらいました。

塚田南小学校では、井戸水が出てきたため、さらに利用しています。今回建て替えの御滝中学校は、校庭の上に一時的に雨水を溜めていますが、建て替え時には、地下貯留施設を設置し、さらに雨水利用をするのか、伺います。



雨水対策事業の一環として、昭和62年に校庭貯留施設として設置。新たな雨水貯留施設の整備に関しては、規模・位置・地下貯留施設などを含め、関係部署と協議する。

また、校庭散水栓の他、トイレでの利用など、設計の中で検討する。



はしもと 和子 090-5574-9079

ホームページ [hashimoto-kazuko.jp](http://hashimoto-kazuko.jp)

市政に関するご意見・ご要望をお寄せください。

S.35年 長野県軽井沢町生まれ 小諸商業高等学校卒業

八十二銀行入行 S.57年より船橋市在住 H.27年より保護司

